

新花巻図書館整備基本計画試案に関する意見整理表

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
1	R3.5.24	教育委員会議	中村祐美子委員	2-1 花巻市立図書館4館の状況	蔵書の情報が4ページに書かれております。花巻市の図書館全体の蔵書数が44万冊で人口1人当たり4.3冊と記載されておりますが、7ページの1番上から3行目、3.1冊という記載がなされていて、誤差をどのように読み取ればいいのかという点です。例えば、4.3冊といった場合に、4ページの下で、近隣の自治体での蔵書数との比較が掲載されております。4.7冊と書いてありますが、例えば本文に記載の4.3冊という基準で見た場合に、目立って少ないわけではないのかなという印象を受けてしまいました。	●数値等のデータについては、策定時における最新のデータを掲載する。	試案に反映	P10,16
2	R3.5.24	教育委員会議	役重眞喜子委員	3 市民のニーズ 本計画の素案を策定するにあたり、新花巻図書館を生産学習の拠点施設とし、市民のニーズに的確に対応できる機能を備えるよう、広く市民の意見を聞くことを目的としてワークショップや意見交換会を実施しました。	市民のニーズについて、ワークショップの結果そのものは、確かにあれもこれも言ってみたということでは様々な意見があり膨大だと思いますが、全体としてどのようなニーズがそこから見出せて、当局としては、そこから何を受け取ってこの案を作ってきているのかということ、3市民のニーズという節の中にきちんと書くべきではないかと思えます。	●2-1アンケートに花巻図書館来館者アンケートの結果を追記し、ワークショップのみならず、これまでのアンケート等から見える市民ニーズを先に記載した。 ●整備の背景と市民のニーズを把握してから、現状と課題を整理するため、2章と3章を入れ替えて整理。 ●3-2現状と課題を「施設」「サービス」「利用方法」「蔵書・資料」「運営」という項目ごとに整理し、以降の記載順もこの順序を基準とした。	試案に反映	P4-9
3	21.5.24	教育委員会議	役重眞喜子委員	3 市民のニーズ 本計画の素案を策定するにあたり、新花巻図書館を生産学習の拠点施設とし、市民のニーズに的確に対応できる機能を備えるよう、広く市民の意見を聞くことを目的としてワークショップや意見交換会を実施しました。	同じく市民のニーズに関して、よく言われることですが、ワークショップはあくまでワークショップです。そこに出た意見が市民のニーズの全てかという、もちろんそうではないし、一部の方ということにはなってしまいます。市民のニーズの把握はとても大事です。この試案の検討に際して急遽行ったワークショップとか意見交換会ではなくて、やはりこれまでの何十年花巻図書館を利用してきた方々の意見やニーズ、どういうことで困られていたか、あるいは、ずっと遡って、これまでの例えば議会や市政懇談会の中で、図書館に関して、こういった意見が市民から出されていたのか、検索すればわかりますので、グループワークだけにとらわれず、トータルで市民の中にはこういうニーズがあったのではないかと、市として把握する必要があるのではないかと思います。特に、例えば東和図書館は合併前に新しく建てました。大迫図書館は、合併後に市役所の支所の中に移ったわけです。旧花巻図書館に限らず、これまでの市内の図書館を整備してきた在り様が良かったのか悪かったのか、市民のニーズに応えたのかどうかということも含めて、検証を踏まえる必要があると思います。ですので、市民のニーズに関して、ワークショップだけ取上げるということよりは、やはりつらいものもあるのではないかと、もう少しトータルに捉える必要があるのではないかと、意見としてお伝えしたいと思います。			P9-17
4	R3.5.24	教育委員会議	中村祐美子委員	5-3 サービスの種類 (1) 閲覧・貸出 ・市民の生産学習や読書活動、地域振興と産業創造に資する図書や資料を収集し、市民をはじめとする利用者へ、それらの情報を広く提供し図書や資料を貸出します。 ・市内各図書館及び県内外の図書館等と連携を図り、市民をはじめとする利用者に図書や資料を取り寄せ貸出します。 ・貸出の迅速化を図るため、貸出をセルフサービスで行うことができるようにするとともに、予約図書を受け取るコーナーを設置します。 ・施設入居者や来館が困難な方のために、移動図書館車による図書貸出しサービスを行うとともに、障がい者向けに図書を個別に配送する方法を検討します。 ・他館所蔵の貴重な資料等についても、電子資料で閲覧できるように努めます。	15ページ、サービスの種類について質問させていただきます。実際の、アクションたるもの、サービス内容たるものと、日本語の問題かと思いますが、努力目標のようなニュアンスを感じてしまう表現が混ざっているように感じます。実際に一般市民の方も読まれると思うのですが、その場合に、実際に自分たちが得られるサービスがどれで、もししたら得られないサービスがあると両方読み取られてしまうので、例えば15ページの閲覧・貸出の1番最後は、「努めます」と書かれております。このような表現ですと、努めた結果、サービスを得られないのかもしれないという不安感を与えてしまうと思いますので、例えば、「整備します」といったアクションの言葉で置き換えていただけると読みやすくなると感じました。	●現状と課題を整理し、その課題に対応するためにどのようなサービス機能をもたせるかがわかるように全体構成を修正した。 また個別の文章については、わかりやすい言い回しに修正している。	試案に反映	
5	M43.11.20	教育委員会議	中村祐美子委員		もう1点です。後半部分は市民のニーズ、現状、課題を踏まえた上で、実際にこれから新花巻図書館はどうなるのかということだと思っておりますが、その課題を受けて新たに追加された部分はどこで、既存のサービスたるものがどれかということが、書き方だけでも分かりやすく区別されていると、読み手にとっては新しくなることで何が変わるのかが分かりやすくなると感じました。			

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
6	21.5.24	教育委員会議	役員委員	5-4 利用対象者別サービス	利用対象者別サービスに関してです。高齢者のサービスとか、障がいがある方へのサービスという点で非常に配慮があっているのではないかと思います。一方で、障がいがある方ということの中にどこまで含むということもありますが、もう少し多様性というか、いわゆるダイバーシティという発想で、多文化共生という視点のほうも、より広く配慮が行き渡ると感じています。例えば、在住外国人の方であるとか、LGBTとか、DVとかひきこもりとか、公共サービスから排除されがちな方々がいるわけです。そのあたりをもう少し包摂できるような、そういった見せ方、書き方、作り方というのが望ましいのではないかと感じたのが一つです。	●5-2 新花巻図書館サービスの基本と種類①図書館サービスの基本⑧「すべての市民が気軽に利用できるよう多様性に配慮し、親しみやすく使いやすい施設とします。また、くつろぎの場・交流の場・市民の広場ともなる図書館とします。」と修正。		P20
7	R3.5.24	教育委員会議	役員委員		構想には図書館の運営という視点はほとんどないと思うのですが、やはり今、公共施設の運営、それから、図書館は特にそうだと思いますが、市民と共同で運営、運用してまちづくりにそれをどう生かしていくかということが必要だと思います。とりあえず整備だからということはあるかもしれませんが、当然運営の発想や思想が整備にも反映されてくるものですから、できれば、まちづくりに関わる方々、図書館に来れば、常に新しい学び合いがあり、新しいアイデアもどんどん出てくるというような使い方ができて、そういった方々のアイデアで、より施設が生かされるというように、運営上の考え方を最初から打ち出していくというお考えがないかと思うのですがいかがでしょうか。	●「5-7 利用者の視点に立った図書館運営」のリード文に、「図書館の運営は市が行います。運営に当たっては、多くの市民に親しまれ、利用される施設となるよう、利用者の視点に立ち図書館協議会や市民との対話により、時代の変化に合わせ、フレキシブルに新しいアイデアを反映できるよう取組みます。その他、図書館業務の自動化と省力化など運営の効率化を進め、専門的な知識を有する司書等でなければならない業務に集中させることにより、より質の高い図書館サービスを提供できる体制づくりを進めます。」と追記した。	試案に反映	P38
8	R3.5.24	教育委員会議	佐藤教育長	4 新花巻図書館整備の基本方針	個人的には目的と機能をきちんと整理したほうがいいと思います。非常に盛りだくさんではありますが、目的、機能を整理した上で、次にテーマとコンセプトをしっかりと絞っていく、そして設計段階に入っていけば、できることとできないことがはっきりしてきますので、そのあたりの作業をしっかりとやっていくことが大事だろうと思います。そういった意味で、11ページの基本方針をもう少し洗ってほしいという気持ちがあります。例えば、先人が育んできた学びの精神は、子どもたちが分かるのかということもあります。それから重点が3点示されていますが、例えばスヌーズレン教育とか、様々な機能について、たくさん出してあります。非常に特色となるところの押さえ、全ての市民が親しみやすく使いやすいということを具体化するとかわかりやすいだろうと思います。それから3つの序列性は今は多分ないと思います。1番2番3番ということではなく、多分並列だと思いますが、歴史も大事ですが私は順番が逆だと思います。1番下がトップ、2番目があって、郷土の歴史と独自性は最後でもいいと思います。まず、図書館としての機能が最優先ではないのかという感想を持ちました。	●若者、子供たちにわかりやすいという観点からは基本計画においてはある程度詳細に示さなければならないとの考えから、これらの計画をかみ砕いてわかりやすくし、子供たちにも新しい図書館に興味を持ってもらえるように検討している。 ●先人がはぐくんできた学びの精神に関しては「4 新花巻図書館整備の基本方針」の脚注として、花巻博物館常設展示図録の鎮除碑の説明文を追加した。 ●3つの基本方針の順番は、歴史と独自性について、特色のある図書館にすべきとの意見も多いことから基本構想もこの順番であると考えられるのでこのまま並びとする。 ●図書館としての機能が最優先であることを明記した。	一部試案に反映	P18
9	R3.5.24	教育委員会議	佐藤教育長	4 新花巻図書館整備の基本方針	方針全体を見ると、基本方針ですから、表現しにくい部分や言い切れない部分はあるのでしょうか、言葉が多すぎるような気がします。もう少し簡潔でもいいのではないかと思います。いろいろなところに手を出していると言えば失礼ですが、もう少し絞った形で優先するものと付け加えるものとオプションと、整理してもいいのではないかと気がします。			
10	R3.4.26	第1回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員		一関市立図書館を非常に参考にしているということで、どうしてだろうと思いましたが、人口も極めて旧花巻市の人口と、それから一関も6市町村ですが、旧一関市の人口が極めて近いということが分かりましたし、市の予算上ではちょっと一関のほうが多いかなと思いましたが、非常に似たような人口構成ということで、一関市の図書館を参考にしたんだなと思いました。	●ご意見として賜る	意見として対応	
11	R3.4.26	第1回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	6-3 整備計画に基づく具体的な空間計画	配置図を見たときに、先ほどの花巻が障がい者、高齢者のサービス対応として対面朗読等を考えていらっしゃるわけですが、2階の奥といいますか、カウンターから遠いところにありまして、このところがもう少し。一関市立図書館は2階のほうで広いわけですから、そのとおりの配置になるかどうか分からないのですが、せめてエレベーターがあるとはいえ、可能であれば1階で、しかも職員が何かあったときに対応できるような、そういうところに考えることはできないかなという意見ですので、広さとかそういう全体のこともあるかと思いますが、その辺も考えてもらえれば、という印象を受けました。	●6-3基本計画に基づく具体的な空間計画に掲載している図はあくまで配置のイメージ例であり、実際とは異なる。基本設計時には、対面朗読など障がい者や高齢者が利用する空間は職員が目が届きやすい場所に設置するなど、配慮する。また、具体的な空間計画 P56 ③研究室、高齢者、障がい者へのサービスへの対応で「サービスカウンターに近接していることが望ましい」と記載している。	試案に反映	P56 P62

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
12	R3.4.26	第1回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池貴委員	6-3 整備計画に基づく具体的な空間計画	第1資料の30ページですかね。以降に、開架スペースとか開架スペースとかそんな項目がありますけれども、市川さんと前に個人的にお話したときに、できるだけ開架の割合を増やしたほうがいい、と。貴重書以外は全部開架でもいいんじゃないか、と。書架の間をブラウジングしている中で書物との出会いというのがないですか、なんていう話をしたことがありますけれども、ここではもうすでに開架と閉架というものがあることになっちゃっていますけれども、その開架と閉架をつくることの是非に関する議論というのは、役所内であったのでしょうか。閉架という位置付けであるけれども、利用者が間に入って見ていけるというようなことにすれば私はいいと思うんですけども。	●貴重資料を除く閲覧可能な図書等の書庫については、できるだけ利用者が入れる「公開書庫」の設置を検討。 「貴重資料を除いて閲覧可能な図書の開架書庫については利用者公開できるようにすること」	試案に反映	P55
13	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池貴委員	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 ②中心図書館としての機能 ・国立国会図書館および他の公共図書館、大学図書館、専門的図書館との相互協力体制を確立し、図書館の広域利用を十分に活用することによって、より充実した資料提供を進めます。	試案の13ページに相当しますが、下から3つ目のポイントです。②の中心図書館としての機能の中にありますけれども、国立国会図書館および他の公共図書館、大学図書館、専門的図書館との相互協力体制を確立し、という部分ですが、実は平成29年ですが、パブリックコメントでこのことについて、意見しておりまして、そこで述べたものを読み上げますと、国立国会図書館デジタルコレクションの図書館向けデジタル化資料送信サービス参加館となって、館内限定資料の閲覧を可能にする、と。それに対して市の回答です。図書館向けデジタル資料や各種データベースの閲覧など新たな図書情報システムに対応できるよう努めます。こうなっておりますけれども、当時の回答からすると、この試案の内容が退行しているように見えるんです。	●デジタル化資料送信サービス等については他館の例を参考に導入することを明記 「図書館向けデジタル資料送信サービスについては、他館の導入事例を見ながら新たに導入します」		P32
14	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割 ①大迫図書館…早池峰山、早池峰神楽など、山岳や神楽、民俗芸能等に関する資料 ②石鳥谷図書館…南部杜氏ゆかりの地であることから酒に関する資料 ③東和図書館…近代絵画の先駆者萬鉄五郎の生誕の地であることから、芸術に関する各分野の資料	今の、地区館の資料収集テーマのことなんですが、これを見たときに、私石鳥谷なんでも、酒に関する資料ってありますけれども、例えば、その地域の先人、例えば石鳥谷で言えば淵沢能恵さんとか、というような特別コーナーがあるわけですが、地域の子供たちが地域の先人を調べたいときにはわざわざ石鳥谷の子が花巻の中央館に来たり、大迫の先人を知りたい時に花巻までっていうのではなくて、22ページには先人や郷土資料といった本市ゆかりの先人の資料を収集したりというようなことが書いてありますが、これは地元で見れるというふうなほうが、地域の人にとっても子供たちの調べ学習にとってもいいのではないかなと思います。ですから、何となく、今現在石鳥谷の図書館では、お酒に関する資料のほかにも先ほど言った先人の資料とかあるので、その辺を含んだような…先ほどどなたかも言っていましたけど、もっと幅の広いような書き方をしたほうがいいと感じました。	●中央館には全地域の先人の基本的な資料を置き、専門的な資料は地区館に置く。 「地区館で行う資料収集は、地区館ごとに地域の文化や特色を反映させます。また地域の先人に関する図書や資料を収集し、情報を提供します。」	試案に反映	P32
15	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割  【関連項目】 5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実	地域の偉人、先人の所でですね、お決まりの本当に宮沢賢治とか淵沢さんとか、そういう方に加えて、もう少し幅広く、明治以降、江戸時代ぐらいだったらまだ資料があると思いますけど、それぐらいのなかで活躍された方を割とピックアップして、調べられる範囲である程度データがあるっていう状況を作っておくと、そこに来て花巻市の近代史をよく見ようっていう方、興味を持たれるんじゃないかなというように思います。もう少し幅広く、分野も経済人を入れるとか、そういうことも検討いただければいいのではないかなと感じます。	●資料を収集する対象の先人については、別途協議する。 「① 宮沢賢治や高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集、保存します。なお、取り扱うべき先人については、別途検討します。」	試案に反映	P37
16	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池貴委員	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス（相談・支援）サービス  【関連項目】 5-8 職員体制	レファレンスの2番目で、専用のレファレンスコーナーを設置しますが、これは有能な司書を常駐させるということで理解してよろしいでしょうか。先ほど早川先生からもお話があったように、人が大事なんです。現在有能な司書さんがいないのであれば、全国公募するとか、その後は花巻で独自に司書さんを育て上げていくというか、そういう発想がとても大事だと思います。	●現在富士大学早川先生の指導のもと、月1回程度勉強会を開催し、司書の育成を行っている。	意見として対応	
17	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤井公博委員	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス（相談・支援）サービス	今、レファレンスという言葉があちこち出てきます。障害者のなかには勉強しなければ日本語を十分に取得できない人もいます。高齢者はますます横文字の日本語を出されても理解に苦しみます。日本語に直すとかですか。	●注釈を追加 レファレンスサービス：何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供しないし提示することによって援助すること。およびそれにかかわる諸業務(日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編、前掲書)	試案に反映	P14

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
18	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス(相談・支援) サービス  【関連項目】 5-8 職員体制	レファレンスのところなんですけども、各コーナー、例えばヤングアダルトコーナーであったり、子供の本コーナーであったり、各部門の所に、各レファレンスの方が専門の方がいらっしゃるとうてもいいです。	●司書の人材に限りがあるため、レファレンスサービスは基本的には1か所に集中したものとし、カウンターが子どもスペースと離れる場合などは、長期休暇期間など臨時でカウンターを設けることなどを検討する 「子どもたちの長期休暇期間中などは随時レファレンスカウンターなどの設置ができるなどを検討すること」	試案に反映	P54
19	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-3 サービスの種類 (2) レファレンス(相談・支援) サービス  【関連項目】 6 新花巻図書館の施設と規模 6-1 施設 6-2 施設の規模	ぜひ、子供の所には子供専用のカウンターをお願いします。	●司書の人材に限りがあるため、レファレンスサービスは基本的には1か所に集中したものとし、カウンターが子どもスペースと離れる場合などは、長期休暇期間など臨時でカウンターを設けることなどを検討する 「子どもたちの長期休暇期間中などは随時レファレンスカウンターなどの設置ができるなどを検討すること」	試案に反映	P54
20	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	山下牧子委員	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援	中学校、小学校でも図書委員とかおりますね。中学校、高校はもちろんあると思いますけども、そういうふうな生徒さんたちの意見をきっちり反映できるようなそういう場があればいいなど。先生方の意見とかもですが、生徒さんたち自身のそういう活動も、反映されればいいなというふうに思います。	●以下の学校と意見交換を実施 花巻北中学校(7/6)、花巻東高校(7/9)、花巻青雲高校(7/21)、大迫高校(11/25)、花巻農業高校(12/8)、花巻北高校(12/16) 花巻南高校(2/22) 意見やアイデアの試案への反映を検討。	実施中	
21	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援	高校の現場の方にもですね、意見を聞いてみるということ話をさせていただいたらいいんじゃないかなという気がしました。	●以下の学校と意見交換を実施 花巻北中学校(7/6)、花巻東高校(7/9)、花巻青雲高校(7/21)、大迫高校(11/25)、花巻農業高校(12/8)、花巻北高校(12/16) 花巻南高校(2/22) 意見やアイデアの試案への反映を検討。	実施中	
22	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム	いろいろ図書館ネットワークが小中学校にきちんと構築される。その最初が、今学校図書館にある本を入力して、把握するっていうところが大事なところ、そういう気がしています。	●開館までに公共図書館と学校図書館のシステムのネットワーク化を予定。 「(オ)学校図書館システムは、新図書館との連携に向けネットワーク化について各学校と協議を進めます。」	試案に反映	P22
23	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	小山田厚委員	5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス	やっぱり人のいるところに人は集まるものと、いつも思っております。ましてや人にサービスする気持ち、接客の気持ちさえあれば、人はどんどん集まる、そう思っています。現在、学校司書、免許の要らない学校司書という学校図書館法で位置づけられた方がいるんですけども、この学校司書、花巻の場合どうしても図書館から遠い学校がいっぱいあります。そういう場合、こういう学校司書さんがいれば、中央館と繋ぎ、システムでなくても繋いでくれる、必要なものを届けてくれる、そういう働きをしてくれる人のぬくもりが出てくればいいなと感じている所でございます。	●学校との連携をとる司書配置を検討することを記載 「(エ)市内小中学校の学校図書館を支援し連携を強化するため、モデル校を設置し、学校担当司書を配置します。」	試案に反映	P22
24	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員		箱モノを作る前に、その部分を使う人たちの声を必ず聞いていただきたいということです。あの、各フロア、各年代、いろんな団体、いろんな人たちが使うわけですけども、その部分を使う人たちがどういうものを求めている、どういうふうなところなら使いやすいのか、どういうふうなところであればいいのかっていうところを、必ず聞いていただきたいということです。	●利用を想定する対象者のヒアリングを引き続き実施。	意見として対応	

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
25	R3.5.25	第2回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員		私、商工会議所から来ているので、建設業界側から言った時、たぶん建設部の担当になって、市の方のご担当の方が変わって、建設に入ると思われているのですがその辺のプロセスについてなんですけど、基本設計をして、概略の設計をした後に、詳細設計をしようと思うんですけど、その両方の課程の中で設計業者さんが決まって同じ設計事務所さんになるか場合によっては違うかもしれませんが、いずれにしてもどちらにも具体的に設計の仕事をする設計事務所さんに、この委員の方々と話をする機会を作ってもらってというのは、いいような気がしますね。でなにとやっぱり、仕事をする方は仕事のほうで、やっぱりこれまでの実績だったりとかそれなりによかれと思ってやってるんですけど、そこまで細部についての言及は、情報として届いていないと、今みたいなことが十分に起こりうるんですよね。なので、それぞれの具体的な業者さんが仕事を進める段階の適切なタイミングでその場を設定してあげるといいような気がします。	●設計段階で意見交換の場を設ける。	意見として対応	
26	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤井公博委員	5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 ・貴重な地域資料や、古文書、古地図などのデジタル化による保存活用を図ります。  【関連項目】 5-6 蔵書・資料の収集について (3) 視聴覚資料や電子資料の活用	市で保管している、古文書などをデジタル化してほしいという声がありました。	●5-22⑦(キ)に記載済 「(キ) 貴重な地域資料や古文書、古地図などのデジタル化による保存活用に新たに取組みます。」	試案に記載済	P24
27	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 ・貸出の迅速化を図るため、貸出の自動化や予約図書の出庫自動化など新しい技術を導入します。 ・図書館システムや新しい技術の導入に際しては、市内図書館はもとより市内学校図書館ともネットワーク化が図れるなど、将来的な変化や進展に柔軟に対応できるものとします。  【関連項目】 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム	新たなシステムへの対応の部分で貸出の自動化については子どもも含まれると思いますが、情報のデータベース化でとか、その後の学校図書館の貸出の自動化についてはどのようにお考えなのかもう一度確認したいと思います。	●新花巻図書館の計画であり、学校図書館の貸出の自動化までは記していない。	意見として対応	P24
28	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働 ・図書館ボランティアはその活動自体が生涯学習の機会でもあり、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう努めます。  【関連項目】 (5) 学校図書館の支援	図書館のボランティア活動と、それからあと各学校でのボランティア、それから地域のボランティアの方々がいらっしゃるのと、その連携も取れるようにしていただきたい。それぞれがそれぞれにそれぞれの場所です今はボランティア活動をしている状態なので、そこをやっぱり1つ共有した認識を持って、そしてその新しい図書館、中央図書館と連携を取りつつ、もっと充実したボランティア活動ができるように図っていけるような、そういうふうな体制を組みつつやっていただけたらいいな、と思います。	●サポート体制の構築を検討する。 「③ 新花巻図書館を中心に、読書ボランティアや学校図書館ボランティア、各地域ボランティアが連携して活動できる仕組みづくりに取組みます。」	試案に反映	P33
29	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	平澤広委員	5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働 ・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。  【関連項目】 5-8 職員体制	ボランティアをどこまでやるかという、ある程度の仕事の項目設定というか、そこをしっかりとしないと、ボランティアを取りまとめる職員の仕事量というも結構大きなものだと思うのですが、その辺、どこまでボランティアの方に任せるのか、仕事をいろいろお願いするかと、その辺具体的な人員の配置、職員の配置みたいな、片手間にボランティアを扱う司書という形なのか、やっぱりそれなりのボランティアに専属する司書の方がいるのか、その辺を当局が考えているかどうかをちょっと知りたいです。	●図書館業務としてボランティアのサポートを行う。また、ボランティア活動のスペースを確保する。 「② 読書ボランティアは、その活動自体が生涯学習の機会でもあるため、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう取組んでいます。」	試案に反映	P33
30	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働 ・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。	何でもきちんとやらなきゃいけないと思うと、人を配置したりですとか、アルバイトを入れないとみたいな気持ちになったりすることもあると思うんですけど、ボランティアでやっていただいていること自体がすばらしいことで、今現在ボランティアの方が感じていることを話し合えるような場をちょっと設けてあげて、ボランティア同士でこうしたらいいね、というようなことを一つひとつ実現させていっていただけてもかなり、状況が変わっていくと思います。そういう考え方も必要じゃないかな、というふうに感じますね。	●サポート体制の構築を検討する。 「③ 新花巻図書館を中心に、読書ボランティアや学校図書館ボランティア、各地域ボランティアが連携して活動できる仕組みづくりに取組みます。」	試案に反映	P33

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
31	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働 ・図書館ボランティアはその活動自体が生涯学習の機会でもあり、図書館を拠点とした参加・活動・交流ができるよう努めます。	育成ではなくサポートに入っていたくような体制があるとすくい。ボランティアをサポートしていただける体制が図書館にあるとすくい助かるということなんです。育成とか教育とか、ボランティアをつくり上げるために、いろいろなそういうカリキュラムを用意していただくとか、そういうことではなくて、自主的にやっている私たちのボランティアをサポートしていただけるような、そういうふうな体制であっていただきたいな、とも思います。	●サポート体制の構築を検討する。 「③新花巻図書館を中心に、読書ボランティアや学校図書館ボランティア、各地域ボランティアが連携して活動できる仕組みづくりに取り組みます。」	試案に反映	P32
32	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働 ・充実したサービスを提供するため、図書館ボランティアと協働した事業を実施します。 ・図書館ボランティアが、自分の得意分野（案内、読み聞かせ、子供の相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、図書館ボランティアの育成に努めます。 ・子どもたちや若い世代のアイデアを生かした企画運営を行うため、ボランティアの育成に努めます。	ボランティアと行政の立場が違うということが、今の話の立場として出てきたということの再認識となって結構だと思うんですけど、その図書館を運営していくにあたっての理念の中に、ボランティアを決して行政サイドからの目線で育てたボランティアではない、独立したボランティアの方々の意思と行政の立場との間の…何て言うんですかね…いい関係…まさに協働なんです、これがきちっと謳われるということが必要なのであって、そう考えるとやっぱり「育成」という言葉は直さなければいけません。	●当該文章を修正。 「④読書ボランティアが、自分の得意分野（読み聞かせ、子どもの相手など）で図書館に参加し関心を持つような場を提供するとともに、読書ボランティアのサポートを行います。」 ⑤子どもたちや若い世代のアイデアを生かした企画運営を行うため、学生ボランティアのサポートを行います。」	試案に反映	P33
33	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	平澤広委員	5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応 ・貴重な地域資料や、古文書、古地図などのデジタル化による保存活用を図ります。  【関連項目】 5-6 蔵書資料の収集について (1) 広い分野の収集	「新たなシステムへの対応」なんですけれども、「貴重な地域資料や云々、デジタル化」とかありませんけれども、地域の文化なり先人なりを顕彰するうえで、明治以降の新聞のデータですね。簡単に言うとマイクロフィルムの閲覧ができるような態勢を取らないと、基本的な資料が今は見れないという状況で、盛岡の県立図書館とかに行かないと見れない。その辺の地域、岩手の新聞、または花巻の新聞資料、明治以降から今までのマイクロフィルムなり実物の新聞でもいいですけども、それらのシステム化は考えているのでしょうか。 岩手日報はできるんですけども、その当時は岩手日日新聞とか岩手毎日新聞とか、二大新聞があったわけで、その辺のデータも貴重なものが入っているし、基本のデータを見るためにはやっぱり新聞資料にあたるというのが本当の基本の基本だと思うんですけども。研究する人には、その辺、高校生なんかにもそういう研究の仕方を教えるべきだと思うんですけども、そういうふうな基本の調べ方みたいなことが、市の図書館にあれば、そういうツールがあれば、皆調べ始めると思うんですけども、その辺の考えはどうか、と思っていますが、ぜひ入れて欲しいと思っています。	●岩手県、近隣市町村のマイクロフィルムの提供、利用状況を確認し設置を検討。 「⑦マイクロフィルムは、過去の貴重な資料を記録していますが、現状の利用度を確認の上、別途取り扱いを検討します。」	一部試案に反映	P24
34	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤本誠子委員	5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス  【関連項目】 5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働	今は花巻市の乳幼児、幼児の実態を話すと、新子育てになってから保育園、子ども園、認定子ども園に預ける保護者が多くなっています。家庭で読み聞かせということも、家庭で日中と一緒にいるところが少なくなってきたり、やっぱり幼稚園とか保育園、認定子ども園に預けて過している子どもが多くなってきたのが現状です。 そここのところ、やっぱり先生たちもちろん学習の中で、幼稚園教育、保育士になるときに勉強しますけれども、また違う立場の人たちから、おばあさんとかおじいさんとか、そういう方たちからほっこりした、ほっとするような読み聞かせをしていただくと、すごくいろんな人に会って、いろんな声でお話の楽しさを知る機会を得るので、とてもいいかなと思います。	●既に現図書館で行っているサービスについては、周知の方法を工夫する。 「④おはなしや絵本、物語などの魅力と楽しさを伝えることを目的に、読書ボランティア等と連携し、図書館や保育所、幼稚園、学校や学童クラブなどへ向き「おはなし会」や「ブックトーク」を定期的に開催します。」	試案に反映	P25
35	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	山下牧子委員	5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援	先日、早川先生が提案されましたけれども、学校司書について熱く語られましたけれども、私たちはそれについて中途半端だったなあ、と私自身は思っていますが、全部の学校にはちょっと無理であっても、何校かからでも始めてみようじゃないかと、くらいまで議してお話してくださったんですけども、委員さんからは司書を入れなくても、子どもたちはコンピュータとか電子機器を使ってそこから引き出して学習に役立っている。それからもう一方は、限られた予算の中で最大限できることがあるだろう、という費用対効果の面からも話されましたけれども、しかし本当は学校に司書がいればいいことは皆さん、大方の方は思っているんじゃないかな、と思います。検討会の中で何回も一関図書館というお手本というか、目指す、それを越えるという言葉も出てきていますけれども、その学校司書というところだけスルーして進むことはできないと思います。本当に私たちは新しい花巻図書館をつくるためにここにいるわけですから、本当にわくわくするような図書館にしたい。私も本当にそう思います。子どもたちというか、将来大人になる人たちに、この場でわくわくするような、そういうプレゼントはできないものかと、私は本当に、先月からずっと思っておりますので、そここのところをもう少し深めていただきたいな、と思います。	●学校司書の配置については、学校や学校担当部署との協議が必要であり、協議を進めながら検討する。 「(エ)市内小中学校の学校図書館を支援し連携を強化するため、モデル校を設置し、学校担当司書を配置します。」	試案に反映	P22

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
36	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤本誠子委員	5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。	「学校図書館に対し」とありますが、同じように幼児施設にはたくさん本が置いてあります。手に取りやすいところに置いてあったり、先生たちが季節で絵本を借りたりしています。やっぱり幼児施設のところでも、もしかして何かお手伝いできるようなところがあったらいいのかな、と思います。今、うちの園では、図書館のほうから幼児文庫の配本を借りていますし、公立保育園のときも借りていました。 そういうふうに、ここには載らないんですけども、やっぱり図書館としての役割で、幼児教育というか、就学前の子どもの本に親しむというところをすごく大事に考えてもらえばいいかな、と思います。	●「学校図書館に対し」を「学校図書館などサービスを求める施設に対し」と変更し対象を広げる。 また、既に現図書館で行っているサービスについては、周知の方法を工夫する。 「⑤ 学校図書館など図書館のサービスを求める施設等と情報や意見の交換を行い、運営をさらに支援します。」	試案に反映	P25
37	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス ・学校図書館に対し、資料を選ぶための情報を提供するとともに、情報や意見の交換を行います。また、学校を訪問して、おはなし会やブックトーク、団体貸出などを行い学校図書館運営を支援します。	4つ目なんですけれども、ここに学童も入れればいいのではないかなあ、と。いっぱい学童があるんですけど、その学童での読み聞かせとかも、図書館のほうに入って行って、やってあげられる機会があればいいのかな、っていうふうにもちょっと思っています。	●「学校図書館に対し」を「学校図書館などサービスを求める施設に対し」と変更し対象を広げる。 また、既に現図書館で行っているサービスについては、周知の方法を工夫する。 「⑤ 学校図書館など図書館のサービスを求める施設等と情報や意見の交換を行い、運営をさらに支援します。」	試案に反映	P25
38	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-4 利用対象者別サービス	サービスの種類でこうやって謳って、乳幼児、児童だとかティーンズとか出てくるんですけど、妊婦さんというのを入れようとなると、もしかしたら別に章立てして「妊婦さんへのサービス」ができることになるかな、と考えると、そこまで謳ったら花巻図書館すごいな、これはやっぱりそういう視点を持った図書館というのは売りにするというか、そこまでいろいろ考えているんだというふうになるな	●5-3 利用対象者別のサービスを下記のとおり分類する。 ①乳幼児・児童へのサービス、②ティーンズサービス、③成人・社会人へのサービス、④高齢者へのサービス、⑤障がいがある方へのサービス、⑥子育て世代へのサービス（妊産婦を含む）、⑦観光客へのサービス、⑧外国の方へのサービス、⑨行政機関へのサービス	試案に反映	P25-30
39	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	高橋英明委員	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス  【関連項目】 6-1 施設 (7) 施設の併設等の検討	例えば地元の企業が訪問してPRしてお話を一緒にさせていただくというふうな場とかもつくってもらえれば、若い人たちも地域に残り活性化につながっていければ、ということもあるので、ワークショップでの内容で散々そういう話が出てきましたので、その辺もちょっと考えていただければ	●WS等で出された意見を可能な限り試案に盛り込むとともに、WS等について詳細を巻末に掲載する。 「⑤-3②ティーンズサービス③ ティーンズサービスとして、高校生や専門学生、大学生などの職業選択や進学に役立つ資料、地元企業の情報提供を強化します。また図書館を通じて地元企業とのつながりができる機会の提供に取組みます。」	試案に反映	P26
40	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス ・CD、DVDなどのメディアを10代の子どもの感覚に合った音楽資料と映像資料の提供に力を入れます。音楽・映像資料もリクエストサービスの対象とし、10代の子どもの要求を重視したサービスを行います。  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 ②中心図書館としての機能	音楽とか映像の提供のところなんですけれども、CDとかDVDよりも、もうすでにリアルタイムでのデータ配信が普通になって、普通に10代とかスマートフォンを持っているので、YouTubeを見て、もうすでにかなりの情報を直接得ているような状況だと思うんですね。ここで、何て言うんですかね、例えばYouTubeを大きな画面で好きな映像を見れるような形にすると、そこはそういう空間になってしまふかな、という感じもしますし、特に情報発信がインターネット上で出ている情報は世界中どこでも見れる情報が新花巻図書館のティーンズでも見られるという状況になるんでしょうね。で、そういう要素も確かに必要だし、それを目的にいらっしゃる子どもたちはやっぱり一定数いると思うから、それはそれで必要だと思うんですけど、花巻のリアルな、実際にアナログで動いているこの地域の状況を、この部分でもデジタル化して発信したり受け付けるという機能が図書館のところにあると、何て言うんですかねえ、情報発信との結節点にこの新花巻図書館がなり得て、デジタル化していない情報は地域にいっぱいあるんですけど、それを10代の子どもの感覚で取り入れて発信するとか、そういうような可能性もあるし、そういう場であっていいかな	●「② 利用者が、資料を通じて新しい情報やスキルを身に着ける・体験する・知識を得ること、その情報やスキル、体験し得た知識や成果を次の結果につなげることができるようなサービスを提供します。」と記載。  5-2⑦新たなシステムへの対応 ※想定される導入例 情報収集：Wi-Fi、PC・タブレットの貸出など 情報発信：ファブラボ・メカスペースなど（3Dプリンタ、動画編集、ブックマシーン）	現在検討中	P20 P24

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
41	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐藤教士委員	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス ・CD、DVDなどのメディアを10代の子どもの感覚に合った音楽資料と映像資料の提供に力を入れます。音楽・映像資料もリクエストサービスの対象とし、10代の子どもの要求を重視したサービスを行います。  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応 5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム	CDとかDVDではなくて、子どもたちはここに来てWi-Fiを使って音楽も聞けて動画も見れる。であればCDやDVDを借りるのか、というのが子どもたちの感覚なのかな、と。先ほどの藤井さんのお話のとおり、あらゆる世代が利用するので必要なんですけれども、ことティーンズに限って言えば、そういった状況の中でどうなのかな。足を運ぶメリット、新花巻図書館まで足を運ぶメリットが子どもたちにとって何があるのかな、ということこそちょっとリサーチしないと、このサービスのこれからのという部分は、まだ時間がある中ですので、詰めていけないのかな、なんていうふうに思ってお話を伺っていました。 もう一つ、学校図書館との連携という部分もここに関わってくるのかな、と。新花巻図書館に行くと本を借りないで本を借りることにならないんじゃないかと、各学校にある図書館の本を借りれば、同じ市の図書館の本を借りたというふうにカウントされるのであれば、そこはいいのかなという部分も含めて、この新花巻図書館が今後どういう位置付けになるのか。センター機能の図書館だというふうな考え方でいけば、必ずしもそこに行かなくても分館は多数あってもいいんじゃないのかな、という感覚になるでしょうし、そういうところもこれから詰めていく必要があるのかな	●以下の学校と意見交換を実施 花巻北中学校(7/6)、花巻東高校(7/9)、花巻青雲高校(7/21)、大迫高校(11/25)、花巻農業高校(12/8)、花巻北高校(12/16) 花巻南高校(2/22) 意見やアイデアの試案への反映。 ●学校図書館の図書はあくまでも学校の図書である。ただしこの学校に何があるかの把握、手元がない場合は、ある学校から借用するなどの連携は考えられる。	意見として対応	
42	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-4 利用対象者別サービス (2) ティーンズサービス  【関連項目】 6-1 施設 (2) 十分なスペースを確保	勉強スペース、学習スペースを必ず取っていただきたい。皆さんのフリースペースとは別に、ちゃんと学習スペースという場所を確保していただきたいということですね。 うるさくしている人たちとか、会話を楽しむ人たちのそういったフリースペースはおそらくあるんでしょうけれども、やっぱり学習スペースというところをちゃんと確保していただいて、皆が、子どもたちが静かに勉強できる場所というのを必ず確保していただきたいと思います。	●6-3整備計画に基づく具体的な空間計画に記載済 「①学習スペース」	試案に記載済	P55
43	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-4 利用対象者別サービス (4) 高齢者へのサービス  【関連項目】 5-3 サービスの種類 (1) 閲覧・貸出	ぜひ移動図書館についても十分高齢者にサービスができるようなことを考えていただければ、と思います。	●5-2②サービスの種類①閲覧・貸出(工)、5-3④高齢者へのサービス④に記載済み。	試案に記載済	P21 P28
44	R3.6.28	第3回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤井公博委員	5-4 利用対象者別サービス (5) 障がいがある人へのサービス 図書館を利用するにあたっての障がいを取り除き、すべての市民にとって利用しやすい図書館を目指します。	冒頭に「図書館を利用するにあたって障がいを取り除き」と書いてありますが、障がいは取り除くことができません。	●建物や施設の障害物を取り除くという意味で記載していたが、分かりづらいため削除。	試案に反映	P28
45	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池貴委員	5-4 利用対象者別サービス (3) 成人・社会人へのサービス これまでの図書館は、どちらかといえば文化、教養のための資料が中心の資料構成となっていました。花巻市の図書館では成人、社会人へのサービスを行ううえで、従来の文芸書偏重を見直し、暮らしと仕事に役立つ情報収集に努めます。	文化・教養のための資料を文芸書と言い換えるという日本語は適切ではないと思います。ですから、誤解のないように文言は直していただきたいというのがまず1点です。	●当該文章を削除し、新たに「③成人、社会人へのサービスは、小説などの文芸書に加え、実用書や専門書などの暮らしと仕事に役立つ資料収集に努めます。」と修正。	試案に反映	P27
46	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池貴委員	5-4 利用対象者別サービス (3) 成人・社会人へのサービス これまでの図書館は、どちらかといえば文化、教養のための資料が中心の構成資料が中心となっていました。花巻市の図書館では成人、社会人へのサービスを行ううえで、従来の文芸書偏重を見直し、暮らしと仕事に役立つ情報収集に努めます。	この文芸書の偏重を見直しというのは、言うほど簡単にできるものではないですね。これをやるためには、自館の蔵書構成に十分通じた上で、あらゆる分野の書物を的確に評価できる能力を有する、そういう人間がいないと、満足な見直しできません。これを文言だけでなく本気でやろうというのであれば、委員の中にも経験豊富な図書館員はおりますから、役所内の上下関係には拘らなくて、謙虚な姿勢で積極的に意見を求めるべきだと思っています。 それから、経験豊富な司書というのは、これは専門職ですけども、この採用に対して市長は消極的であるという情報も聞こえてきていますが、新図書館が外見だけでなく中身が立派な図書館をつくるという、そういう意思があるならば、生涯学習部長は市民のために使命感をもって市長に諫言して考えを改めさせる、そういう責任があると思います。ですから皆さんの本気度が今問われていると言えます。以上です。	●ご意見として賜る。	意見として対応	
47	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 開館時間 日祝 10:00～19:00	日曜、祝日の開館時間なんですけれども、一応これは午前10時という案が出されていますが、もうちょっと1時間早めて午前9時がいいのではないかと。なぜかというと、休みの日は皆さんお出かけとか、いろいろ自分の予定を入れるので、朝、早めに図書館に行って本を返して、とか借りてから出かけるみたいな、なんかそういう、子どもさんがいるところだと、意外とそういう予定を組む方が多いので、ちょっと日曜、祝日は早めの開館のほうがもしかしたらいいのかな、というふうにちょっと考えました。	開館時間を延長すると、その分人件費や施設維持費が増加するため、延長するとどれだけの経費増加が見込まれるか精査する。	現在検討中	P34



No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
48	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	早川光彦教授	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 休館日 毎週月曜日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間	今までと異なるのが毎週月曜の休みを取ること、毎月1日の休みが必要かどうかというのはもうちょっと検討されたほうがいかな、と私は感じています。	開館時間を延長すると、その分人件費や施設維持費が増加するため、延長するとどれだけの経費増加が見込まれるか精査する。	現在検討中	P34
49	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	早川光彦教授	5-5 利用方法に関する事項 (1) 開館時間 休館日 毎週月曜日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間	(蔵書整理期間について) 一般的に棚卸で2週間休むというのは、ちょっと理解に苦しむかな、と思いますので、そこところは新しい技術も導入しているわけですから、それをきちんと使いこなしていくというような考えもやはり必要なのではないか、と思います。	開館時間を延長すると、その分人件費や施設維持費が増加するため、延長するとどれだけの経費増加が見込まれるか精査する。	現在検討中	P34
50	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池賞委員	5-5 利用方法に関する事項 開館時間 日祝 10:00～19:00	休日に図書館で勉強するというのも多いんですけども、午前10時からの開館だと午前中は2時間しか勉強できない、と。これはとても効率が悪いという生徒がおります。ですから朝9時とか、そのぐらいで始めていただけたらとありがたいそうです。	開館時間を延長すると、その分人件費や施設維持費が増加するため、延長するとどれだけの経費増加が見込まれるか精査する。	現在検討中	P34
51	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池桂委員	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	今、花巻市内の図書館の中には視聴覚資料と言われるCDとかDVDが結構少ないんですね。それをお1人が15点ずつ借りられてしまったら、すっかり図書館の中に何もなくなってしまふ、ということになっちゃうので、できたらやっぱり本とCD・DVD等の分けた形での貸出点数という形を取っていただいたほうが良いと思います。	●ご意見として賜る。	意見として対応	P35
52	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	早川光彦教授	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	この対象の資料と冊数と期間ですが、まずこの計画の中に書いておいたほうが良いだろうと思われるのは電子書籍。これについては、蔵書構築計画、蔵書の整備計画と並行して進んでいくものだろうというふうに考えることができます。電子書籍がないのに電子書籍とは書けませんし。新しい図書館では当然電子書籍が視野に入ってきますので、そういうふうな書き方が望ましいかな、と考えられます。	●電子書籍については別に取り扱いを検討。 [5-5]貸出点数と貸出期間(案)※1電子書籍については、県内自治体でも導入事例や提供する事業者数も増えていることから、市民のニーズ等を踏まえて検討します。 [5-6]広い分野の収集 ※ 市民利用者の利便性を高めるため、電子書籍についてはまず読み物を中心に導入し、今後の動向も踏まえながら、計画的に導入します。]	試案に反映	P34、37
53	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	早川光彦教授	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	まあ3週間で図書館にある資料、情報資源は区別なく15点で、というような。ただ、この15点の中に移動図書館も含まれるということではないかな、と思いますが	●貸出点数は情報資源の区別なく15点以内とし、移動図書館率については現図書館と協議を行う。	一部試案に反映	P35
54	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	梅原奈美委員	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	今、移動図書館は次の運行日まで借りることができるので、1カ月とか、貸出期間をとっていますので、その貸出期間を移動図書館も一緒にしてしまうと、ちょっと期間のところを工夫しないといけなくなりますね。ちょっとそこは検討の余地が必要だと思います。	●現図書館と協議を行う。	試案に反映	P34
55	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	図書館が実際に出来るのが、例えば5年なり7、8年後だとすると、今でさえCD、DVDよりはオンライン配信とかいうか、なっちゃっているのがさらに進んでいる状態で図書館が立ち上がったときのシステムなので、今だったら考えられる最新のものに標準を合わせるぐらいの計画をしておかないと、「今更CDなの？」みたいな、新しいのに、図書館なのに、というようなことは十分起こり得るんじゃないかな、と思った点が1つですね。 それから、1人15点借りて3週間借りられるのであれば、ごそと借りて3週間全然行かないで、そのまましばらく取っておいて、というような借り方の人が増えていく方向になるんですけども、それが果たして…。そうじゃなければ、人間が読める本なんて、15点なんてやっぱり急には読めないと思うし、何を借りたか覚えていられないぐらいの冊数じゃないかと思うんですね。10点ぐらいにして2週間に、また来てもらってまた新しいものを借りてもらおうというサイクルをつくり出してあげる期間のほうが、図書館の使い勝手とするの良いのではないかな、とちょっと感じます	●資料保存の観点から、CDの収集も必要。将来的にどのような媒体が図書館で扱われるかは、その都度見直ししていく。 [※視聴覚資料(音声資料・映像資料)は、CD、DVD、ブルーレイ等をはじめ、新しいメディアに対応した資料を収集します。]	意見として対応	P37
56	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-5 利用方法に関する事項 (2) 貸出点数と貸出期間 本・CD・DVD等 15点(市内4館で)	ちょっと今、一関図書館の貸出について見ましたら、私たちに渡された資料には『制限なし』と書いてありますが、こういう表記をしております。『貸出冊数、貸出期間内に利用できる冊数』まあ、各自に任せるということですね。要するにその人が21日以内で読めるような冊数ということで、それ以外については、DVD、ビデオテープとか1館につき5点以内。あと、予約についても15冊以内、5冊以内、というふうに『以内』というふうに書くと、15点全部というのではなくて、それぞれ利用者に任せるという表記になって、ちょっとニュアンスが違ってくるかな、と思っております。	●15点「以内」と記載。	試案に反映	P34

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
57	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池賞委員	5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実 ・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。 ・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。	②番その最初の2つに関係あると思うんですけども、これは地域で出されたミニコミ誌みたいなとか、各市民団体の機関紙とか、そういったものも含まれていると思われませんが、あと、収集したらおもしろいと思われるのが、例えば新聞の折り込みチラシです。普通で考えると、もう数日で情報の価値はなくなってしまうものなんですけれども、これをちょっと視点を変えて、数十年単位で考えると、時間が経てば経つほど資料的価値というものは増してくるものなんです。今はデジタルの技術がありますからかさ張らない、ということで、そういった普段捨てられてしまうようなものにも収集の目を向けてみたらおもしろいと思います。	●新聞の折り込みチラシについては、閲覧資料とする。	意見として対応	
58	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	福盛田弘委員	5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実 ・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。 ・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。  【関連項目】 6-1 施設 (3) 先人や郷土資料のスペースを設置	佐藤昌介先生の本なんかもほしいなと思って図書館に行ったら、なかなかなかったんですね。やっぱりそういった岩手のゆかりの人、また花巻のゆかりの人なんかを調べるときには、そういうところが不足しているので、大変だなと思っていました。 それで、やはりインターネットから調べたり、いろんなところから調べることもできますが、なかなか実際、今、そういった本が売っていないんで、売っているとしてもプレミアが付いて3倍、4倍の値段が付いているのでなかなか買えない。そういった本がやっぱり花巻のゆかりの図書としても重要な、かと思っておりますし、また、宮沢賢治関係の本なんかは、イーハトーブ館にもいっぱいありますし、そこに行くとはとんどの本が借りられるか見られますのでいいですが、あと新渡戸関係なんかもそうなんです。そういった郷土に関する書籍を調べたいと思っても、なかなか詳しく調べられなかったりしているので、この辺を充実していただきたいと思っております。	●資料収集方針や蔵書計画で検討を行う。 最低限各施設が所蔵する資料の情報を共有できるようにする。 5-21⑥⑦ 5-22①オ、⑦ケ 5-4③④ 5-6②先人や郷土資料の収集、保存を拡充 6-1③先人や郷土資料のスペースを設置	試案に反映	P20、21、24、32、37、43
59	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	菊池賞委員	5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実 ・宮沢賢治や高村光太郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存します。 ・先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図ります。  【関連項目】 6-1 施設 (3) 先人や郷土資料のスペースを設置	内村皓一という写真家の人がおまして、その人の作品とか、あるいはその他諸々の資料が今、岩手県立美術館に寄託されているのだそうです。ところが、作品については管理されていますけれども、いろいろな書簡とか、何か表彰された表彰状とか、そういったものに関しては整理されていない状況だそうです。で、この際、花巻市の図書館で一括して引き受けて管理して、それでそういった外国からの書簡なども内容整理できたらいいかな、と思います。	●関係機関と協議する。	意見として対応	
60	R3.7.27	第4回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-6 蔵書・資料の収集について	蔵書の内容の充実の切り口なんですけれども、やっぱり図書の種類として、大手だとか中央から出てくる一般的なものを広く、普通の人が目にして借りるという部分も花巻でも充実させるとするのはあると思うんですけども、花巻ならではの切り口で、要は一般的でないものって、結局各地域から出された…、日本あるいは世界中でもいいんですけども、地域から出された特徴のある資料とか書類とかあると思うんですけども、花巻の、例えば酒造りに関するの切り口を深めていって、日本中のローカルな酒造りに関する資料が花巻の図書館に行くところあるよ、とか。例えばですけども、何かそういう花巻をゆかりにしながらも深堀りして、日本あるいは世界中の資料がここに行けばあるというのをおもしろいんじゃないかな、というふうにも感じるので述べさせていただきます。 それから、花巻市の姉妹都市が4つあるところのローカルな情報が、ここに行くとなると英文等であるというのも1つの考え方としてはあるかな、というふうにも思います。	●5-4②地区館の役割と機能④において地域の色や文化を反映させることについて記載。 ●5-6蔵書・資料の収集についてのリード文に、「多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、以下の点も考慮し、幅広い分野の資料収集に努めます。」と記載。 ④ 多文化資料（外国関係資料）は、姉妹都市など本市と関わり深い外国語資料をはじめ、図書や雑誌、新聞等、市民の多文化理解や国際理解に資する資料を収集します。」と記載	試案に記載済	P32 P35
61	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐藤敦士委員	5-7 図書館情報システム (1) 図書館システム  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応	学校の中には学校図書室があります。で、学校の図書室の本も市の税金で買っていたので準備しているわけなんですけども、図書を全部一括管理できないのかな、学校の図書室の本も市のものなので、全て一括管理できないのかなというのが私の最終的に描いてるんですが、そこまではないにしても利用者の登録については、小学校の段階で登録すれば学校のパソコンで借りるのも図書館に行っても借りるのも、登録のナンバーで借りられるようにするとすれば、小学校段階で全員登録してしまえば、大人になって図書館に行っても本を借りられる。中学校でも本を借りられる。それを全部市の読書推進の冊数にカウントされる。それを全員小学校段階で登録者にしてしまうことが、一律でしてしまう方がいいのかなのか、強制的になってしまうのかどうなのかというところがちょっと考えるところですけども、そうすると小中高の利用促進にもつながるのかなと思ったりするんですけども、そういったのは可能なんじゃないかな。	●学校図書館の図書はあくまでも学校の図書である。ただしこの学校に何があるかの把握、手元にない場合は、ある学校から借用するなどの連携は考えられる。 ④(オ)学校図書館システムは、新図書館との連携に向けネットワーク化について各学校と協議を進めます。」と記載	試案に反映	P22

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
62	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	5-7 図書館情報システム (1) 図書管理システム  【関連項目】 5-3 サービスの種類 (7) 新たなシステムへの対応	まず一番は全ての小中学校の蔵書、これをデータベース化するということだと思うんですが、それには図書館の司書でなくても業者でもやるという話も聞いておりますが、その予算を市教委でしょうか、直接は。市教委で捻出できるかという、何かそういうところで教育委員会に聞いてみます、というお返事を前にいただいておりますが、そのへんのところいかがでしょうか、事務局のほうで。	●開館までに計画室が中心となり公共図書館と学校図書館のシステムのネットワーク化を予定。 「(オ) 学校図書館システムは、新図書館との連携に向けネットワーク化について各学校と協議を進めます。」 ※No.22と同様	試案に反映	P22
63	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	小山田厚委員	5-7 図書館情報システム ②利用者用機器 ・タブレット端末等、移動しながら資料検索やインターネット検索が可能となるよう、利用者貸出用の端末を整備します。 ・CDやDVDなどのパッケージ型電子資料を管内で利用するために、視聴覚機器を整備します。また、視聴覚機器は今後、新しいメディアによる資料の増加に対応するために、メディアの安定性や将来性を考慮する他、利用者や職員操作性、衛生面にも配慮した機器を整備します。 ・複写機を設置して、著作権の範囲内で複写サービスを行います。	花巻市では非常にいいシステム、「読書思い出版」というシステムを取り入れておられて、これは子どもの心をわしづかみにする、いい刺激になるシステムだと思っております。読書記録にもなります。小学生の時点で市立図書館に要望すれば手帳をいただけるんですけども、どんどん大人になるまでそれを続けていけば、きちんとした読書記録になる。これは花巻の特色じゃないかなと常々思っております。過日9月26日の日曜日に民放放送の番組でも東京都の昭島市で導入して非常に利用率が高まったという番組をやっておりましたし、また10月1日には岩手県内の学校図書館研究大会というのを前沢小学校でやりまして、前沢小学校さんでも導入して、全校児童613人のうち一日の学校図書室の平均利用者が600名だと担当者が言っておりました。飛躍的に図書の利用率が高まっているというお話をしておりました。どこかで、試案の段階ですので、「読書思い出版」について触れたいのも一つ花巻の特色になるのではないかなと私思います。開発した新興製作所の方に聞いたら、今190台ほど全国各地で販売されているんですけども、岩手県の場合は導入している学校が結構多いというのが特色です。市内で言えば若葉小、新堀小、それから石鳥谷小学校、もう1校ちょっと出てきませんが3、4校導入して、学校図書館で非常に活発に利用されております。子どもたちは手帳持つと市立図書館にいらっても使えますし、学校の図書館でも使える。まずはシステムもそうですけども、そういう手帳の共有化ができていけばいいかと常々感じております。	●5-7(3)②(ウ)に「読書思い出版」を活用することを記載。 「(ウ) 現在、市内で導入している読書記録機器を設置します。」	試案に反映	P41
64	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	5-7 図書館情報システム  【関連項目】 5-3 サービスの種類 (6) 情報発信を強化	もったいないのは最近わざわざアップデートがあって、やるときは10冊ほど借りるんですけど、一つの本の冊が大きくなって、一括した表で見れなくて、プリントアウトした時に3枚くらいにしないとなんかなくなってちょっと見づらくなった、逆に見づらくなるんですけど、そういうのがあって。あともったいないと思うのはせっかく今のホームページはいいんですけど、要は予約とか検索とか、そういう情報、ページが無いんですね。もっと例えばPR、例えばイベントとか図書館活動の情報とか予約の使い方とか、あとは例えば職員さんのブログで発信するとか、いろんな使い方があって、これは技術というよりもソフトでやればできる話だと思うので、新しい図書館ができるまでやらないのではなくて、ソフトの面では今からでもできる話だと思うんですね。だからそういうハードはできないけどソフトではできるということを今から新しい図書館ができるまでの間待たないで早くやって欲しいなと思います。 あと例えば私が館長さんと話したのが、花巻市の図書館の運営方針って毎年つくりますよね。あれ例えばホームページに載せたりとかして、どんどんどんどん発信したらいいんじゃないかなと。紫波町の図書館だかも、ブログで地域おこし協力隊の方が図書館の紹介ということで書いていますよ。必ずしも職員がやる必要はないし。これを知恵を使って、今からできることをソフト面のほうでやって、PRとかそういうことは花巻図書館のほうでもうできると思うので、そういうのをちょっと考えて欲しいなと思います。以上です。	●5-2(2)⑥に記載済。 また、現図書館で今からできることに関しては、いただいたご意見を図書館と共有し、利用者にとってわかりやすい情報の発信に努める。	試案に記載済	P23
65	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-7 図書館情報システム  【関連項目】 5-1 新花巻図書館サービスの基本 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (1) 中央館の役割 5-3 サービスの種類 (5) 学校図書館の支援 (7) 新たなシステムへの対応 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス	非常に情報が便利になって、いろいろなことが予約ができるようになるということは、それだけ本を人の所まで届ける必要が、例えば学校だとか、何度も運ぶということが出てくるということですよ。そちらのほうの頻度と制約を同時にバランス取りながら進めるという、そういうことなんですよ。質問なんですけど。要はいつでもすぐ次の日に届くという代物じゃなくて、各学校に週に1回か2回運ぶようになると、そういうイメージで思っているんですが。 (座長・早川教授回答後) そうしますと学校図書館と市のセンター図書館との連携が予約だけじゃなくて、司書の派遣だとか合わせて物流も含めたかたちで検討すると、いろんなことが解決する可能性があるというように、何らかのかたちでこの中に含めてもいいような感じはして聞いてました。	●5-2(2)⑤(エ)学校図書館の支援で学校図書館への支援内容を記載。現図書館でも学校の求めに応じて図書をまとめて貸し出すなどしている。	意見として対応	P22

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
66	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤井公博委員	5-7 図書館情報システム	私ちょっと高齢者とか障がい者の仲間と話しをする機会があったんですが、やっぱり本は、私もそうなんですけども、パソコン通して本買うことはほとんどないです。やっぱり本は本屋にあって、こうして見ながら買っている、80歳を過ぎますとね、それが全然違和感がない。それが楽しいですね。ですから図書館にいても、いろんな仕組みでどどん借りやすくなるのはそれはそれで結構だと思いますけれども、やっぱり図書館の方々にさまざまな意見を聞いて発言したり、聞いてもらって、親切にしてもらおう。これがまた非常にいいですね。ですからシステムはシステムでどどん進化していただきたいけれども、市民サービスの最先端におられる図書館の利用者が、今後とも障がい者とか高齢者が行った場合も、あまり人も少ないとは思ってますけれども、ぜひ親切にしてくださいという姿勢もぜひ継続していただきたいと思います。以上です。	●ご意見として賜る。	意見として対応	
67	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員		検討会議の位置づけの話で、どういうフローで検討が始まっていくか。策定フロー、大まかなスケジュール、ロードマップが無いんですね。だから今みたい不安になるわけですよ。で、どういう手順でやるか、手順、例えばここで話したことを計画室でやったのを教育委員会に出すのか、図書館協議会でやるのかって、いろんな、議会に出すとか、パブリックコメントとか、いろんな手続きがあると思うんですけど、その手続きが分からない。それを出して欲しいと私たちは言ってますが、なかなか出ない。で、それを計画するのが計画室の仕事じゃないかと思うんです。どういう書き方になるかは分からないんですけど、その通筋、手順とか、そういう手続きとかをきちんと示して、そうしないと市民の人もだんだん関心が無くなるわけですよ。私たちのグループでも話が出たんです。それが分から何やってるか分からない。そうするとだんだん関心が少なくなっていく。で、市民から関心が少ないって、その原因はあって。それをちゃんと示すのが計画室の仕事じゃないかな。今の話聞くとやはり皆さんいろんな意見を積み重ねて、もう一回つってまた積み重ねたら逆じゃないかなと。ちゃんと理念とかコンセプトとかビジョンとかを先に花巻ならではの図書館っていうのをちゃんと議論して、庁内で議論していいと思うんです。それをしてからというふう。順番が逆なわけじゃないかなと思うんですけど、それはちょっと計画室で考えていただけたらと思います。	●今後どのような過程を経て図書館整備を進めていくか、5-1 新花巻図書館整備基本計画について基本計画策定から開館までの流れを示した。	試案に反映	P19
68	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐藤敦士委員	5-8 職員体制 ・司書資格を持つ職員を計画的に配置するなど、職員体制の充実を図ります。 ・専門的な知識を深め多様な世代のレファレンスサービス（相談・支援）に対応できるよう研修などにより職員の育成に努めます。 ・効率的で質の高い図書館サービスを提供するため、図書館業務の自動化と省力化を図ります。  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 5-3 サービスの種類 (9) 図書館ボランティアとの協働	本当に学校をサポートする司書体制というのは整えていただきたいと思います。その反面、今日はすみません、遅れてきたのは昼休みに中学校の図書室でお話会やってまして、図書ボランティアさんが全面協力で飾りつけから何からやってくさってます。本校については図書ボランティアさんが図書の登録も全部やってくれます。ですので、学校のその図書の登録、蔵書については先生方は携わっておりませんでした。で、そういうことを考えた時に、地域の人材を育てることでそういったサポート体制はできるんじゃないかなと。市の財源には当然限りがありますので、そういった部分も人材育成という部分がこの司書資格を持つ職員、職員体制の充実の中に位置づけられて欲しいなと。地域人材の学校サポート体制の育成という部分も欲しいなというように思っています。先ほどの利用者の登録ですが、蔵書の一括管理という話をちょっとさせてくださいけれども、そういった学校もしくは読書推進、支援、指導に関わるやっぱりセンター機能をこの新図書館は持って欲しいと願うところです。この職員体制に関わって、図書館の職員だから自分の館のことをやればいい。図書館に人をやればいいではなくて、花巻市全体の読書推進を担うんだ、背負うんだ、そういう気概を持って学校図書館のみならず読書推進を進めるような職員体制を希望したいなと思っております。よろしくお願いします。	●中央館として市全体の読書推進を進めるよう職員体制を構築します。	意見として対応	
69	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	5-8 職員体制	職員体制の、この4行くらい書いてあるんですけど、これは整備に関してのソフトだと思うんです。で、平成29年度新図書館構想で書いてあるんですけど、その書いてあることの運営に関するということ項目の中の一つに書いてあって、で、運営に関するところが4項目くらいあるんですけど、それが何か4つばらけて今回の計画に書いてあるんですね。運営に関するところをもっときかれば平成25年中央図書館計画にきちんと運営管理に関する項目として、きちんと2、3ページ取ってるんですね。だからこの基本計画を見ると、ハード面は結構書いてありますね。スペースをつくるとかシステムを入れるとか。運営管理のソフトの面がちょっと後回しというか、ちょっと扱いが小さいような感じがするんですね。で、その運営管理ソフト面というのはすごく肝だと思うんですよ。もっと項目を付けて、例えば図書館の方の意見聞くとか、どういうことで、どういう気持ちで働くとか、そういう理念とか、そういうスローガンとかももっと入れて、ばらしちゃうと薄めてしまうので、きちんと運営管理という項目でちゃんと計画をつくって欲しいなと思います。	●基本構想の整備方針で「③運営に関すること」として記載している内容はすべて反映している。また、図書館職員とのワークショップもR2年度に開催している。	試案に記載済	項目を変えて記載

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
70	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模	単独施設か複合施設かの話が議会のほうから提案されたので単独施設って言われましたが、私が聞いた話は、特別委員会を開催しましたよね。で、私聞いたのは、議員さんですね、その特別委員会の方に聞いたら、市からの回答待ちだったって言われたんですよ。だから決定ではなく、それこそ計画室とか市からの回答待ちで、待ってる状態って私聞いたんですけど、その単独施設っていうのは決定なんですかね。それとも私、もしかしたらマンションとの複合施設は反対ですという意味で言ったのかとかって思って、そのへんはどうなんですか。ある程度決定ということではないんですか。決定するのはもう決まりなんですか。	●特別委員会の意向を尊重し、図書館単独として検討を進めている。特別委員会について、試案内に記載する。 71.花巻市議会 新花巻図書館整備特別委員会提言内容	一部試案に反映	P63
71	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模	単独施設と複合施設の話なんですけど、そうすると例えば食事コーナーだったら単独じゃないとかっていうあれになってる、いろいろ会議室とか、いろいろ例えば中ホールだとかっていうと、展示コーナーとか、あとチャレンジショップとかっていうのは、それは単独施設に含むってことですか。なんか複合施設と考えるのかって思ってたんですけど、どういう線引きにしているか、よく分かりません。	●あくまでも図書館が中心となるが、図書館の情報資源を活用し、これからの社会で必要とされる機能を果たしているよう検討を進めている。	意見として対応	
72	R3.10.8	第5回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員		私はいろんな自治体、いろんなところもコピーしたりとか、一関の図書館も見たりするんですけど、そうするとですね、結構抜けているというか、例えば、さっき言ったように策定フローとか、あと上位計画、関連計画との位置づけ、整合性が書いてないとか、あと数値目標ですね、登録率とか、例えば花巻図書館の目標値、数字、登録率とか貸出率とか、あとキャッチフレーズは今はずっと予定とおっしゃいましたが、あとはキャッチフレーズを市民の方から募って、募集して、市民の方の関心をもっと高めるような、そういうのをやってもいいと思うんですよ。ただやる、やらないとかじゃなくて、そういうのを盛り込む、行程に盛り込んで、分かりやすい、読んで分かりやすいとか、そういうのをつくって欲しいなと。ちょっと今のだと抜けている項目が多いような気がするんですけど、それは入れる考えとかありますか。	●現在よりよい基本計画となるよう、試案検討会議において委員の皆さまからご意見を頂戴している。またキャッチフレーズは今の段階では設ける必要はないと考えている。	意見として対応	
73	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	山下牧子委員	5-9 運営経費 【関連項目】 5-8 職員体制	まず人件費についてなんですけど、正職員の10名。この正職員10名の中には司書は何人で、またその他の15名の中には司書は入っていますでしょうか。 それから一関図書館では、各学校に司書を派遣しているということだったのですが、その辺との兼ね合いとか、その辺りですね。 それから、この光熱費については、一関図書館では太陽光を上げていましたよね。そことの関係とか、その辺のところも参考にしてもらいたいかな。 それからですね、委託料とありますけれど、どの程度、どの辺の委託のところに入っているのでしょうか。 それから、図書購入に関してなんですけれども、一関では一般市民から寄せられた、こういう本がほしい、というのをお祈りしないで購入していますよ、というお話だったのですけれども、この新花巻図書館では基本的にはどんな辺りに考えているかどうか、そこのお話を聞きたいです。	●人件費について司書数は定めていない。 ●関係職員等を対象とした会議を開催し、教育委員会とも協議を進めながら検討する。 ●太陽光発電については6-15④に記載済。 ●委託料は清掃やシステム保守などに必要となる。 ●リクエストサービスは地区館にあるものは取り寄せ、市立図書館全体の蔵書にできれば購入する場合もある。	一部試案に反映	P39-40 P44
74	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	山下牧子委員	5-9 運営経費 【関連項目】 5-8 職員体制	1年ごとに採用という感じで置かれる司書についても、なるべくというか、特に若い人たちが司書の資格を持って入って来られる、こういう方はやっぱり大事に迎えるべきだと思うんですよ。そこところは…。ワークショップでたまたま同じテーブルで、やっぱり司書を目指して、または司書であるという方と一緒にいらしたけれども、やっぱり図書館の中で司書として働きたいと勉強してこられた若い方。こういう人たちこそちゃんとしたところで迎えてあげたい、やるべきだというふうには私はそのときからずっと思っております。 (早川教授回答) 先ほど山下委員の司書の件ですが、自分の意に沿わない異動ということがありますが、これも自治体よっての決め方なんですけれども、専門職制度を持っている自治体があります。東北でもいくつか。専門職制度であれば、原則的には司書として採用された場合には、原則として図書館以外の部署への異動はありません。で、完全に専門職ではなくても、もう1つ、司書という職名を持つということですね。司書という職名を持って、よほどのことがない限り本人の意に沿わない異動はないということですね。今回、それを同時にどこまで進めていくかというのが重要な点ですね。	●職員体制としては、経費を見て計25名を案としているもの。	意見として対応	P39
75	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	福盛田弘委員	5-9 運営経費 【関連項目】 5-8 職員体制	今の関連なんですけど、やはり職員として司書の資格を持って図書館に働きたいという感じで職員になった方でも、定年まで司書職員の職務にならないで終わった方は私は知っていますので、やっぱり適正な職員の配置も大事だと思いますが、やっぱり司書として働きたいと考え方で入った人が最後まで動けなかったということも私はわかっていますので、そんなこともこれからは配慮していかないと、今は司書が足りないとか、そういう話をしているようですが、そういうところもこれから人事をうまくやっていただきたいです。	●司書資格を持っていても接客等に問題があっては図書館職員は務まらないと考えるので職員体制は図書館を含めた市全体で考えているのが実情である。	意見として対応	P39

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
76	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	平澤広委員	5-9 運営経費  【関連項目】 5-8 職員体制	それから、市の施設における人員配置の定数みたいなものもあると思うので、その辺も含めてこのくらの人数になったところをまずお話ししていただきたいと思います。また、早川先生にお聞きしたいのは、この人数は本当に適正なのかどうか。施設の規模によっても上下あると思うんですけども、その辺は適正なのか、少ないのか多いのか、そこが判断がつかないので、それも教えていただきたいと思います。 (早川教授回答) 質問の結論から、正職員10名では、まあ最低人数かなと思います。ただし、先ほどの山下委員、福盛田委員からあったように、司書率が下がればおそらくこの図書館の運営は難しいと思います。相当に要求数字が高い図書館であるとは思っております。 それと併せて会計年度というか、スタッフの総数はもうちょっといたほうがいいかなとは思いますが、この規模だと30名程度が妥当なところかなというふうに感じています。(中略) もし10名とすれば、7割以上の司書率がいないと私はこの図書館の運営は極めて困難だというふうには思っています。というのは、やっぱり先ほど山下委員からも若い司書を目指す…。やはり専門的な仕事をしたいので、1人で仕事を俯瞰的に見れるようになるためには最低6年というように言われています。ですので、やはり専門的な知識の蓄積ですね。情報化社会がかなりのスピードで進展しておりますので、そういうようなことも含めて考えると、もし10名であれば最低7名の司書。	●ご意見として賜る。	意見として対応	P39
77	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	5-9 運営経費	私は民間企業を営んでいるからなんですけれども、たぶんこの資料を見せられたときの一般市民の受け取り方とすると、同じような心配をされて、例えば国際交流協会の経費からとか、例えば教育関係のほうからさらに1億をなんとか用立てなくちゃいけないということになると関連のほうは大丈夫か、というような心配をしたりとか、そういう方もいらっしゃると思うので、裏付けの原資はこういう状況になっています、という説明も市民向けには必要ではないかと感じますが、いかがでしょうか。	●財源の確保に努め、それらを活用して予算化することを記載 5-7(2)	試案に反映	P39-40
78	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	5-9 運営経費	この経費を計算するのに、例えば本の購入ですね。本の購入を調べてみたら、例えば毎年開架図書10%は入れ替えないと新鮮味が欠けておいて、よく資料に載っているんです。そうすると、たくさん資料、たくさん最初本を入れたら、それを替えるのに毎年毎年お金がかかりますよね。花巻の図書館の、考えて、石鳥谷とか東和とか、ざっくり言えば地域の人口のわりにすごくたくさん蔵書があって、中央図書館は極端に少ないと思うんですよ。だから花巻図書館がたくさん最初に入れちゃうと、花巻全体の維持費がどうなるんだという話もあるので、その辺考えてどの程度の規模にするか。要はこういう図書館の規模にするかという話からしないと、本当にこれはおそらく参考としてしかちょっとわからないくらいかな、と私は素人なりに思いました。 それと、花巻の特性というか、そういうのを考えた場合、毎年出されている図書館要覧を見ますと、花巻の場合、受け入れ図書、寄贈ですか、の割合がかなり多いですね。多いというのは僕はそう感じる。4割ぐらいは寄贈で、だから少ない予算の中で新刊を買って、寄贈というのは多分寄付とかそういうのでかなり賄っているというイメージなんですけれど、花巻の人たちにはそういう特徴があると思って、本当にそうなのか。寄贈というのは花巻独特のそういう、何か文化というか歴史とかそういうのがあるのか。それは勉強になるのでお聞きしたいんですけど、どうなんでしょうか。	●寄贈の割合が特に高いことはない。	意見として対応	
79	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐藤敦士委員	5-9 運営経費	新花巻図書館がつくれるにあたって、ほかの図書館を圧迫するのもしょしくない、そっちはちゃんと確保しなくてはいけなかなあ、と思いながら、この額に驚いていたところで、先ほど地方交付税交付金という話もありました。で、地方交付税交付金なんですけれども、確かに読書推進にあたって額はこれ、というようなものはあるんですけども、その地方交付税交付金の使い道についてはその地方自治体に任せられているので、私が県教委にいたときに、それぞれ市町村の皆さんに、ちゃんとその額できているんだからそれに使ってくださいよ、というふうにお話をしてきた経緯もある中で、ぜひ地方交付税交付金、このために使うんだということががんばっていただきたいと思えます。	●ご意見として賜る	意見として対応	
80	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	平澤広委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (1) ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインのほうですけども、可能な範囲で木質化を図る。木質化を図れば利用者の負担感や圧迫感などのストレスが軽減されるという概念はどこからきているのか教えてください。 何方月か前に、ある設計士に花巻で木質化の図書館をつくるとすればいくらくらい掛かりますか、と聞いたらですね、おそらく花巻だと鉄筋の1.5倍は掛かるだろう、と。それを踏まえた上で木質化をやるのだといでしょうけれども、と忠告されたところだったので。製材所がまず花巻にはないんだそうですね。だから、ほかに持って行って持って来る、と。この往復の運賃だけでも結構な金額になるということを言っていました。以上です。	●国の「建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」を考慮し対応する。	意見として対応	
81	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	山下牧子委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (5) 防災、防犯対策、環境へ配慮	5ページの建物は地震などの災害に、とありますが、先ほど太陽光の話をしましたけれども、高校生が校舎の屋上に太陽光をぜひとか、公共の今度建てる建物の屋根にはぜひ太陽光をつけるように、という署名活動をしていましたよね。やっぱり最低でも、特に災害時に活用できるし、その辺のところはちゃんと考えられませんでしたか。	●6-1(5)防災、防犯対策、環境へ配慮へ記載済	試案に記載済	P44

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
82	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	堀合範子委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (3) 先人や郷土資料のスペースを設置  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割 5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実	5ページの先人の資料のところなんですけれども、(3)です。 宮沢賢治、高村光太郎、新渡戸稲造について、市内の図書館、中央図書館で資料を配置するというのは良いと思いますが、例えば萬鉄五郎は地元東和の図書館があるわけで、そちらのほうの他の3館の地元先人コーナーを生かして、…何て言うかな、すべてと言いますが、中央図書館に皆さん来てください、ではなく、萬鉄五郎については、東和にいっぱいありますが、私たちのほうで取り寄せることもできます…、先ほど館長さんが相互貸借ということを言っておりましたが、できるだけそういった3館も生かしながら、そういう設置と言いますが、配置と言いますが、したほうが良いのではないかな、と思っております。	●5-4/2地区館の役割と機能④ 5-6/2先人や郷土資料の収集・保存を拡大へ記載済	試案に記載済	P32、37
83	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (3) 先人や郷土資料のスペースを設置  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割 5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実	先人のスペースの件なんですけど、確かに石鳥谷は、特色があるというのが、…特色というのは、各地方の特色があるのが花巻の図書館の良いところ、長所だと僕も聞いているんですけど、各図書館とか、そういういろんな博物館でも、こういう資料がありますよとか、こういうイベントがありますよと紹介するスペースというか、そういうのを一括して中央図書館にスペースを置くのはありだと思ふ。そういうのはありで、よく聞くのはただパネル展…先人のある方のパネルが置いてあって、つまらないなあ、というのを聞くので、そういうのじゃなくて、そういう紹介…、どこに行けばこういうのがありますよ、イベントがありますよとか、講座がありますよとか、そこに図書館のあるスペース、情報…コーナーとかを置くというのははかと図書館との差別化ができる、と。 あと、私の希望なんですけど、花巻博物館に行くんですけど、あそこは江戸時代前までの歴史なので、近現代史を調べたいんですけど、今、花巻市史もまだ40年ぐらいできていなくて、近現代史を調べようと思っても、本当に資料がないんですね。だから、花巻図書館は明治以降の花巻の近現代史…、そのあたりで活躍された方を調べたり、そういう資料を収集したり、そういう面で近現代史に力を入れているというので、石鳥谷とかほかの図書館との区別化をしているような館にしてほしいと、そういう希望があります。以上です。	●ご意見として賜る	意見として対応	
84	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (3) 先人や郷土資料のスペースを設置  【関連項目】 5-2 図書館サービス網と新花巻図書館の役割 (2) 地区館の役割 5-6 蔵書・資料の収集について (2) 先人や郷土資料を充実	私もですね、図書館だからあまりあれかもしれませんけれども、ここに行けばここにしかないぐらい揃っているのは、例えば花巻の中央図書館には宮沢賢治のものは、どこに行ってもないぐらいのものが揃っている、と。例えば萬鉄五郎のものはやっぱり東和に行かないとだめだけれども、情報だけが入ってくるんだけれども、やっぱりそこに実際に行ってみないとだめだというのは、やっぱり各図書館に特徴がないとだめだと思ふんですね。そこはやっぱりぜひ花巻らしい特徴を出したスペースのつくり方とか、あとちょっと繰り返になりますけれども、情報だけは中央図書館に行くのと取れて、これくらいのものであるんだったらやっぱり石鳥谷にも行ってみたいとだめだな、と思うような設定をしてほしいと思ふですね。	●5-4/2地区館の役割と機能 5-6/2先人や郷土資料の収集・保存を拡充へ記載済	試案に記載済	P32、37
85	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	藤本誠子委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (4) 子どもスペースを設置  【関連項目】 5-4 利用対象者別サービス (1) 乳幼児・児童へのサービス	(4) の子どもスペースを設置ということなんです。今日の話を聞いていたときに、木質化とか自然や緑を感じながら屋外で読書などや様々な活動ができる、というところがありまして、こういうのが子どもスペースのところにも被ってくるのかなと思って、できれば子どもって図書館という建物とかに入るのに抵抗がある子もいるかもしれないので、何か心が安らげるような、こういう木々のあるところからガラス張りの図書館を見て、そこに行ってみようかな、と思うとか、そういう子どもにとつての…子どもが自ら本を調べようとか、何かこれについて調べたいという子は、まあ虫好きの子なんかはそういう子もいますけれども、そうじゃない子のほうがほとんどなので、身体を動かして遊ぶほうが好きという子が多いので、そうやっている子も図書館に入ってみたい、と思うような導線のあるところ、開放的なところ、お外が見えて…、というところが良いかなと思います。そして図書館を見て、虫を見て、テラスから出てあそこ木のあるところに行けば、もしかしたらカブトムシがいるかもしれない、と思うような、そういうようなところが子どもスペースのところには被さってくると良いかなと思うので、そういうふうな解釈しましたけれど…。	●6-3整備計画に基づく具体的な空間計画に記載済 「・屋外でも閲覧ができるスペース（テラス席等）も検討すること」と記載	試案に記載済	P47-60
86	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	前野祐子委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (2) 十分なスペースを確保	今、箱物の話をしているんですけども、例えば医療の部分の書架のところに血圧計があったりとか、そういうふうな何かその本を通して実際に自分でやってみようという、行動に繋がるものを随所に入れていただけたらとすごく良いかなと思うんです。居場所というか、図書館って寄り添う場所であってほしいって思っているんです。常々、図書を読むだけではなく、そこに行ったらときに、自分が生きていく上でプラスになるものであったり、癒しになるものであったり、そういうものを身近に感じられる、そういうふうな場所であってほしいと常々思っているんで、決まり切った箱物だけではなく、そういうふうな足を運んでいただいた方々に、寄り添う気持ちがあるよ、という温かみのある図書館といったらいいでしょうか、そういうふうな場所であってほしいと思うので、なんかすごく良い文句がいっぱいあるので、ぜひこれを生かしていただきつつ、そういうふうなものを取り入れて本を介して実生活に役立つものだったりとか、そういうふうなものを取り入れられるような図書館にしていきたいと思っているので、意見というか、要望というか、でした。	●ご意見として賜る	意見として対応	

No.	開催日時	会議名	委員名	該当する試案内容	質問・意見等	検討案	対応種別	新旧対照表の掲載頁
87	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (7) 施設の併設等の検討  【関連項目】 5-6 蔵書・資料の収集について (1) 幅広い分野の収集	併設の施設で、例えばというかですね、図書館で日本語の図書ばかりイメージしているわけですけども、それは当然なんですけれども、英語の図書はどの程度考えるか。英語はもしかしたら対象になるかもしれないんですけども、せいぜいそこまでしたいと思うんですけども、中国語とか韓国語とかはどうなんだというのはいらない、という前提でお考えになっているのかどうか。で、英語については、ある程度、小学生から勉強するような世の中になっていくので、ある程度は考えるべきなのか。その辺りはどうお考えでしょうか。  私、個人的には、多文化共生という外国人の方々が入って来てはいるんですけども、それにあんまりおねねというのは、やっぱり日本語の喪失にもつながるようなところもあるし、そんなにどんどんこれから外国人に求められる日本の施策も困るなど思っておりまして、その中ではまあ英語はある程度しょうがないかな、と。だから東北までも多文化共生で、とにかくどんどん外国語を奨励するんだ、外国人の方々に入ってもらんだ、というのは、国際交流協会の理事職は預かっていましてけれども、実はやり過ぎは注意だと個人的には思っていて、市川部長とも話ししなければいけないなど思っているんです。難しい問題になっていることですね。	●5-3/8外国の方へのサービス、 5-6蔵書・資料の収集について①広い分野の収集に記載 「多文化資料（外国関係資料）は、姉妹都市など本市と関わり深い外国語資料をはじめ、図書や雑誌、新聞等、市民の多文化理解や国際理解に資する資料を収集します。」	試案に記載済	P29、37
88	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	佐々木史昭委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (7) 施設の併設等の検討  【関連項目】 5-6 蔵書・資料の収集について (1) 幅広い分野の収集	先ほど山下さんがおっしゃった定住外国人の方が日本語を学ばなくちゃいけないという方々にとっての入門書的なものがコーナーとしてあると、さっきの多文化共生でどこから来ても日本語を話したいという目的の方に合うコーナーというのは、そういったような方々の集まりやすい場にもなり得ると思うので、それはちょっと検討してもいいかなというふうに思いました。	●ご意見として賜る	意見として対応	
89	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (7) 施設の併設等の検討	前回の検討会議のときに、単独か複合かの話にはじまって、今日、私のほうでA4で1枚皆さんのほうにお渡しした、先日、市議の伊藤盛幸市議ですか、新花巻図書館整備特別委員会の会長というか。話す機会がありまして、その経緯について質問したのがあるんですけど、この前、単独か複合かの話をする、図書館の可能性が狭まると書いてありましたけど、この前いただいたのは、計画室のほうは、市議の総意としての提言を尊重して単独施設として整備する計画です、というのをいただいて、ただ、回答が以前別の市議の方から聞いたのとちょっとニュアンスが違ったので、今回、伊藤盛幸さんから、委員長から聞いてみようと思ったところ書いていて、結局この提言は意向が縛るものではない、と。市の中というところの議論で、当然、基本計画ができたときに予算と一緒に市議会が審議すると思うので、そのときに違う…市議が委員会を出した提言と違うことがあれば質問するなり、そういうのがあるんですけど、基本的に尊重して、予算案で通るか通らないかを議決する流れなので、決して縛るものではないと言われました。だから併設、複合か併設かで例えばワークショップで出た芸術ホールがほしいというところをホールを併設するという話も、それは案としてはありうるという話を聞いたので、ちょっとその辺を聞けばちょっと計画室の案と議会とちょっと違うような話なんですけど、どういうふうな感じでしょうかね。その認識としては、という質問なんですけど。	●議会特別委員会の意見は尊重する。よって、特別委員会について試案に記載する。	一部試案に反映	P63
90	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (7) 施設の併設等の検討  【関連項目】 4 新花巻図書館整備の基本方針	ただ、計画室の考えは単独と考えているということですね。座長の方がそういう考えだと、ちょっとバイアスがかかっちゃうんで、偏ってしまう心配はあるんですけど、まあそういうことはない。  あと、併設の件に戻ると、3つの方針に戻ると、例えば地域産業の創造とか、例えばまちづくりの要素もある、賑わいの要素もあると思う。それを入れて、方針とのバランスとかも踏まえて、そういうのが入るとどうしても併設の割合というか、重さ、比重も多くなってくると思うので、そういう方針に沿って、整合性があるかどうかと書いたんです。そういうのも考えて併設を入れたほうが、検討と書いていますけれども、じっくり考えたほうがいいと思います。以上です。	●議会特別委員会の意見は尊重する。よって、特別委員会について試案に記載する。	一部試案に反映	P63
91	R3.11.12	第6回新花巻図書館整備基本計画試案検討会議	白岩弘樹委員	6 新花巻図書館の施設と規模 (7) 施設の併設等の検討  【関連項目】 4 新花巻図書館整備の基本方針	図書館中心の機能を見ると、3つの方針の中で、まだ入っていないとか、たぶん入っていない部分は併設のほうに入れなきゃならないんじゃないかな、と思ったので、この部分の(7)は検討と書いていますが、かなり今から…ほかのとは別にまだこれからじっくり考えるものだと私は思っているんですけど、そういうことでよろしいでしょうか。  結局これはこの後の空間計画に反映されると思うんですけど、それと方針との整合性、方針で出している内容と空間計画の整合性というか、抜けているのがあるとやっぱりおかしいので、それはしなければいけないと思うんです。後の話だと思うんですけど、そういうことです。	●議会特別委員会の意見は尊重する。よって、特別委員会について試案に記載する。	一部試案に反映	P63